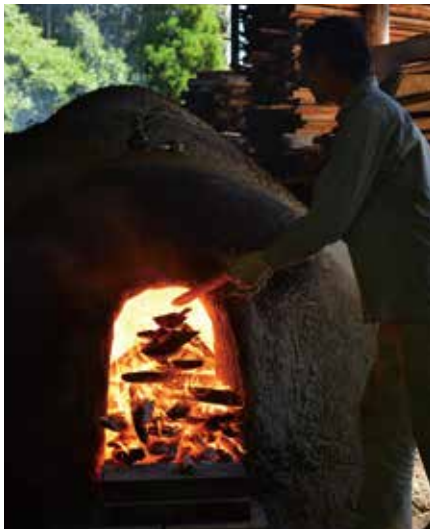




窯詰めを待つ作品たち



展示室(中庭より)



窯焼き~穴窯



妻 妙子の作品



高台のサイン



展示室内



梶原 靖元

Yasumoto Kajihara

梶原 妙子

Taeko Kajihara

靖元氏

▶1962年  
伊万里市南波多に  
生まれる

▶1980年  
有田工業高校  
デザイン科卒業

▶1980年  
唐津焼窯元  
太閤三ノ丸窯に  
弟子入り

▶1997年  
佐里 大谷に穴窯築窯

駐車場(5~6台)

作業風景見学

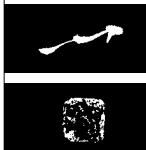
体験教室

要連絡

窯印・作家印▶

# 大谷工房飯洞甕窯

オオ  
タニ  
コウ  
ボウ  
ハン  
ドウ  
ガメ  
ガマ



新しい発見に無限の可能性。

中学時代の陶芸教室で焼物に興味を持ち、太閤三ノ丸窯で修業をした後に開窯。唐津では珍しい韓式の穴窯と家屋形式を持つ窯元である。原材料にはこだわり、土次第ではできる作品も変わってくるという。新しい原料を使いながらどんな料理をつくらうかと発想する楽しみが、梶原さんにとっての唐津焼の魅力である。

「新しい発見は日々無限に見つかる。新しい素材で、作品をイメージしながらつくることが一番楽しい」日々作陶に挑み、頭の中は唐津焼のことであらう。そのストイックな姿勢が、使う人々を魅了している。